

サンデーサイエンス

竹炭でふうりんをつくろう

担当：植物研究室

1 内容

竹の形態を観察したり、スライドショーを見たりすることで、竹の形態的特徴や生態を知り、竹の魅力について感じとる。さらに博物館で作った竹炭を利用して風鈴をつくることで、様々な竹の利用方法について知る。

【竹の種類について】

モウソウチクとマダケ



〈モウソウチク〉函館市を北限とし、各地で栽培されている。国内では最大のタケ。マダケよりも折れやすいため、繊細な竹細工には向かない。節が1段になっている。
〈マダケ〉本州以南の広い地域に生育しており、節が2段になっている。

【竹炭の利用方法について】

●脱臭に利用

(使用例)

・インテリアを兼ねて、トイレや部屋の棚などに置く。冷蔵庫や下駄箱の中に置いたり、麻の小袋に入れて靴の中に入れてたりする。

●浄水に利用

(使用例)

・水槽や金魚鉢にそのまま竹炭片を入れる。
・竹炭片を湯沸しポットに入れてお湯を沸かす。

タケとササの違いを確認する。

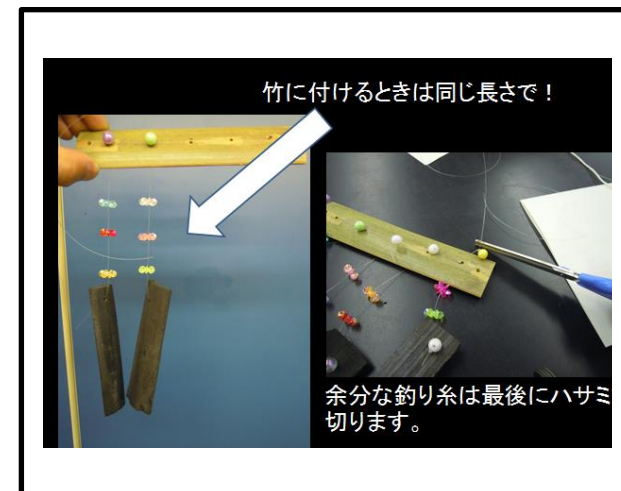
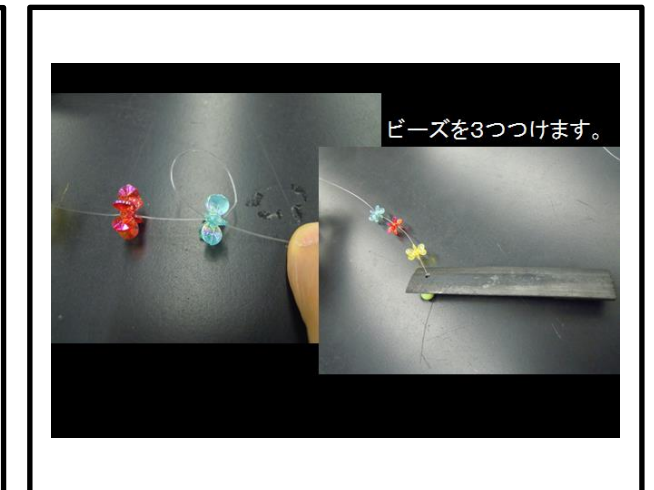
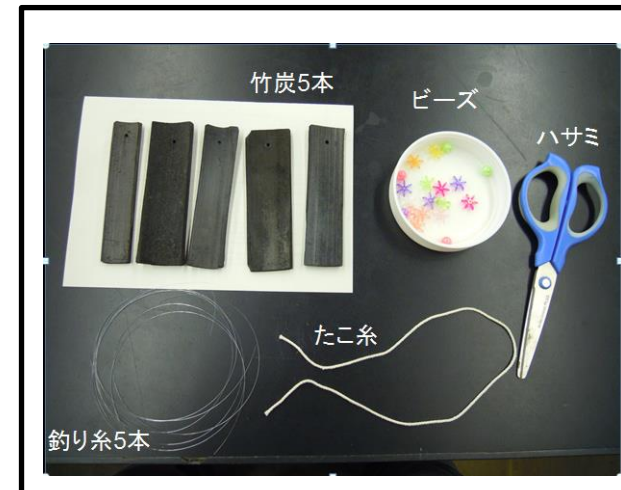


2 準備物

竹炭で作った竹べら4本、竹べら1本、プレゼンテーション資料、たこ糸、テグス（釣り糸）5本、ビーズ数個、ハサミ、モウソウチク、マダケ

3 手順

- (1) モウソウチク、マダケなどの身近にあるタケを観察し、その違いを比べる。
- (2) 竹クイズを行う。（タケとササの違いなどの確認クイズ）
- (3) 下の4の手順で風鈴づくりを行う。



4 注意点

・テグス（釣り糸）をビーズの穴に通し、一周させるとビーズが固定する。

5 参考資料

タケ・ササ図鑑. 創森社. 内村悦三.